

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院分院腎センター内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この研究では、亡くなられた方の診療情報も、貴重な情報として、研究対象として扱わせていただきます。この案内をお読みになり、ご自身やご家族等がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族等の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間：2000年1月～2023年12月の期間で、虎の門病院・虎の門病院分院腎センターに入院し腎生検を施行され原発性膜性腎症、造血幹細胞移植後膜性腎症と診断された18歳以上の症例

【研究課題名】

造血幹細胞移植後膜性腎症と原発性膜性腎症の臨床・病理学的特徴および腎予後の比較分析

【研究の目的・背景】

造血幹細胞移植後には様々な腎疾患を発症することがあり膜性腎症もその内の一つである。原発性膜性腎症と造血幹細胞移植後膜性腎症の臨床像と腎病理・腎予後を比較した既報はない。今回、原発性膜性腎症群と造血幹細胞移植後に膜性腎症を発症した群に分け、各々の臨床経過や腎病理所見や腎予後に関して比較を行うこととした。その長期経過が解明されれば、病態の理解に資するだけでなく、長期的な維持療法の指針ともなり得ると考えられる。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2025年4月7日 ～ 2028年3月31日

【単独／共同研究の別】

単独研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては、特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院分院 澤直樹のもと研究終了後5年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

診療情報：検査結果、診療記録、薬歴など

【虎の門病院分院における研究責任者・研究機関の長】

腎センター内科 澤直樹

研究機関の長：分院長 竹内 靖博

【虎の門病院の機関の長】

院長 門脇 孝

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族等の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族等の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2025年6月30日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様の不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院分院 腎センター内科 ・ 澤直樹

電話 044-877-5111(代表)

虎の門病院本院 腎センター内科 ・ 澤直樹

電話 03-3588-1111(代表)